

〈解答〉

- ① 1 イ
2 ウ
3 エ
4 エ
5 X：ニューディール 内容：①：ブロック ②：関税
6 満州事変（漢字4字）
7 イ

配点 ①6は2点，他は各1点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 Aの義和団事件は、日清戦争後の1899年に「扶清滅洋」を唱えて義和団という宗教団体が民衆とともに蜂起し、翌年、北京にある外国公使館を包囲したできごとである。日本など8か国が出兵し、これをおさえた。Bのロシア革命は、1917年、レーニンが指導する労働者や農民、兵士などがロシア皇帝をたおした革命である。これにより、社会主義を唱える世界最初の政府ができた。五・四運動は、1919年5月4日、北京で始まった民族運動である。第一次世界大戦後、中国は日本に山東省の権益の返還を要求したが、パリ講和会議で要求が拒絶されると、北京での学生集会をきっかけに反日運動がおこり、帝国主義に反対する全国的な運動へと発展した。フランス革命は、1789年、フランスで始まった市民革命である。絶対王政に不満をもつ市民がバスティーユ牢獄を襲撃し、国民議会在、身分の特権を廃止し、人間の自由と平等、国民主権、言論の自由、私有財産の不可侵などを唱える人権宣言を發表した。1793年に国王ルイ16世を処刑して共和制を始め、民主的な改革を進めた。
- 2 日清戦争後、八幡製鉄所が開業し、日本の産業革命が軽工業から重工業へ移行した。このころから、三井、三菱、住友、安田などの財閥が形成された。アは明治初期の1870年代、イは第一次世界大戦のころ、エは1973年のできごとである。
- 3 エは1938年に国家総動員法が公布されたころの説明である。
- 4 吉野作造は、政治の目的を一般民衆の幸福や利益に置き、一般民衆の意向に沿って政策を決定することを主張し、1916年に「民本主義」を唱えた。さらに、普通選挙や、政党が内閣を組織する政党内閣制の実現を説いた。福沢諭吉は、1872年に『学問のすゝめ』を著した。
- 5 植民地の多いイギリスやフランスのブロック経済は、植民地の少ないイタリア、ドイツ、日本などに打撃を与え、のちに対立するようになった。
- 6 満州国が建国された1932年に、これに反対した犬養毅首相が海軍の将校に暗殺された五・一五事件がおこった。また、国際連盟は、満州国を認めず、占領地からの撤兵を求める勧告を採択した。これに反発した日本は、1933年、国際連盟を脱退した。
- 7 エは1938年、アは1939年、イは1940年、ウは1941年のできごとである。